

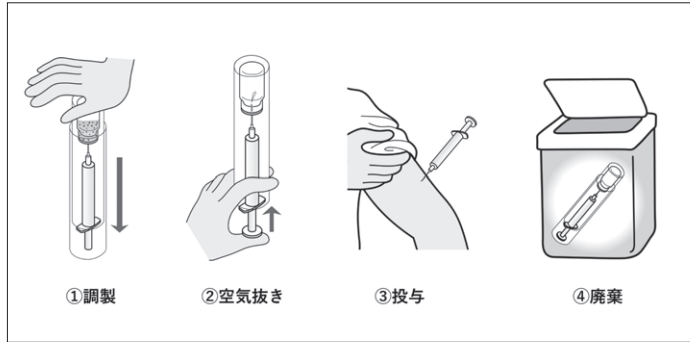
注射薬キット実用化で協業

容器内で調製し、曝露防止

第二工業製薬と製剤ベンチャーのモリモト医薬は、曝露防止型プレフィルドシリンジキットの実用化や製造で協業する。同キットは、バイアルと注射針付シリンジを円筒型容器内に配置して一体化させたもので、モリモト医薬が開発した。従来

の調製方法や既存品に比べて、医療従事者の安全性や調製時の操作性が向上すると見込むほか、製薬企業にとっても低コストで汎用性の高いキットの実現につながるを期待している。医療用医薬品を組み込んだキットとして数年以内に承認を得て製造できるよう、両社の協力関係を深める考えだ。

第一工業製薬・モリモト医薬



同キットの使用手順

同キットは、溶解液を封入した注射針付シリンジと、粉末状の医薬品を封入したバイアルを、円筒形容器内の両端に配置したものを組み合わせた。同キットは、バイアルと注射針付シリンジを円筒型容器内に配置して一体化させたもので、モリモト医薬が開発した。従来

の調製方法や既存品に比べて、医療従事者の安全性や調製時の操作性が向上すると見込むほか、製薬企業にとっても低コストで汎用性の高いキットの実現につながるを期待している。医療用医薬品を組み込んだキットとして数年以内に承認を得て製造できるよう、両社の協力関係を深める考えだ。

患者に注射する。両者を入れ替え、粉末状の医薬品を封入した注射針付シリンジと、溶解液を封入したバイアルを組み合わせたこともできる。

近年、抗糖剤など人体に健康被害を及ぼす可能性のある医薬品に、医療従事者や患者が曝露されないようにする対策が注目を集めている。同キットは、一連の作業を円筒型容器内で行うため、バイアルから注射器を抜く時や、空気抜きを実施する時の薬液の飛散を防止できる。投与後すぐにシリンジを円筒型容器に戻すことによって、廃棄時の飛散も防ぐ。操作性が高いことも特徴だ。

シリンジ内に隔壁を設けて粉末状の医薬品と溶解液を封入するプレフィルドシリンジは数社で実用化されているが、高い技術力が求められるため、技術を持つ製薬企業でなければ製造できない。モリモト医薬が開発した同キットは、バイアルを組み込むだけで済むため汎用性が高い。

来夏以降、同キットの商業生産実証のための製造設備と治験薬製造プラントを大阪市にあるモリモト医薬の社屋内に立ち上げる予定だ。第一工業製薬は、ライ

フサイエンス事業の新拠点として、今年3月に林原から取得した岡山県内の土地に医薬品製剤やヘルスケア製品などを製造する専用工場を設置する計画。専用工場を活用して同キットの商業生産を行う見通しだ。

同キットの対象となるのは、曝露防止の必要性が高く、用時溶解して投与する注射用医薬品。既に一品目は決まっており、実用化に向けた開発が進んでいる。他の医薬品についても、他社から依頼を受けて開発

し、製造を受託するなどの展開を想定している。

第一工業製薬は、今回の協業を足がかりに、昨年9月に本格参入を発表したライフサイエンス事業を発展させる。これまでに林原の土地を取得したほか、カイコや桑などに由来する成分の機能性の解明を進めている。池田薬草の2社を子会社化した。健康食品や機能性表示食品の開発や販売にも取り組んでいる。